

第2回 周産期医療体制のあり方に関する検討会

日時:平成27年10月15日(木)10:00～12:00

場所:合同庁舎第5号館 共用第8会議室(19階)

議事次第

1. 開会
2. 議事
 - (1)助産師および助産所の活用について
 - (2)地域における分娩環境および産科医の確保のための方策
 - (3)その他
3. 閉会

【資料】

- 資料1:「周産期医療体制における助産師の活用」 福井トシ子構成員
- 資料2:「助産師の果たすべき役割と連携体制について」 山本詩子構成員
- 資料3:「助産師の就業状況と活用について」
- 資料4:「妊婦さんとそのパートナーおよび未就学児のいる親御さんへの分娩施設に関するアンケート結果」 阿真京子構成員
- 資料5:「地域分娩環境の確保のための方策」 海野信也構成員
- 資料6:「産婦人科医師の動向と確保について」

【参考資料】

- 参考資料1:「周産期医療体制のあり方に関する検討会」開催要綱
- 参考資料2:「産婦人科医療改革グランドデザイン2015」平成27年6月20日日本産科婦人科学会
- 参考資料3:「小児科・産科における医療資源の集約化・重点化の推進について」(平成17年12月22日付医政局長、雇用均等・児童家庭局長等連名通知)
- 参考資料4:「小児科・産科における医療資源の集約化・重点化に関するワーキンググループとりまとめ」平成17年
- 参考資料5:「アンケートのフォーマットおよび自由記載の意見」
- 参考資料6:「助産所、嘱託医師等並びに地域の病院及び診療所の間における連携について(通知)」平成25年8月30日